

令和5年度 兵庫県における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～令和4年度	令和5年度	計	令和5年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	619,537,894	183,226,681	802,764,575	91%	市町の林務行政の一層の推進及び林業の担い手育成にかかる施策に充当予定
譲与額（円）	690,459,000	188,263,000	878,722,000		

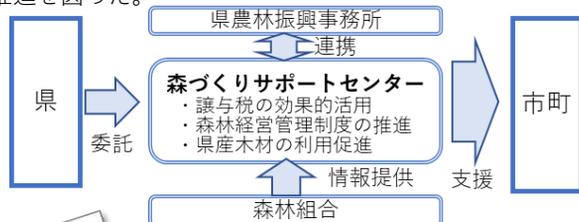
■令和5年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	ひょうご森づくりサポートセンター運営業務	59,759,294	59,759,294	森林整備・木材利用について、知識や技術が不足し、体制が不十分な市町に対し、県森林組合連合会に「森づくりアドバイザー」を設置し、森林整備事業等に係る業務を支援。
森林整備	森林クラウド活用情報高度化事業	54,640,555	54,640,555	樹種、林齢、面積、施業履歴等の森林情報を県・市町・森林組合等の関係者がクラウド上で一元的に管理できるシステムを構築するとともに、継続的な搭載データの拡充及び精度向上により円滑な森林整備を支援。
人材育成	森林環境譲与税を活用した市町職員養成講座	8,429,182	8,429,182	県立森林大学校において、市町職員等を対象とした講座を設置し、市町の事業推進を支援。
人材育成	リモートセンシング技術養成講座	5,203,000	5,203,000	リモートセンシング技術を活用することで森林整備に係る現地測量の省力化を図るとともに、測量図面のデジタル化により情報集積を推進するため、林業事業体の技術者を養成する研修を実施
人材育成	県産広葉樹苗木生産者育成事業	973,500	973,500	針広混交林や広葉樹林化等の県民の多様な森林整備のニーズに対応するため、広葉樹の利活用や苗木生産技術などの基礎知識を学ぶ研修会を森林ボランティア団体、森林組合や市町の職員を対象に開催。
木材利用	ひょうごの森づくり・木づかい普及啓発推進事業	52,281,350	52,221,350	県産木材の利用促進を図るため、啓発イベントの開催やHPの運営、県産木材が見える木造住宅への設計費支援、県産木材を利用した中大規模木造建築物の設計ができる建築士を養成する講座等を実施
木材利用	林地残材活用ビジネスモデル確立事業	1,999,800	1,999,800	主伐が進む中、燃料用材としての活用が可能な根株や梢端等が林内に取り残されているため、これら林地残材の収支の見合う活用方法を実証し、普及に向けたビジネスモデルを確立。
基金積立		5,036,319	5,036,319	
合計		188,323,000	188,263,000	
基金残高		77,189,205		未執行額・基金運用益等の積み立て。

■事業実績

①ひょうご森づくりサポートセンター運営業務

専門知識、人員の不足する市町に対し、ワンストップ相談窓口の設置し、市町が実施する森林整備及び譲与税活用事業の推進を図った。



森づくりサポートセンターURL：
<https://www.hyogo-forest.or.jp/sc/>



全市町 取組カルテ（森林整備）

②ひょうごの森づくり・木づかい普及啓発推進事業

多くの集客が見込める民間施設等について県産木材による木質化を支援。また、市町や県民、工務店等に県産木材の生産・加工現場を見学してもらう現地バスツアーを開催。



ひょうご木の街木質化推進事業
 イオンモール神戸（神戸市）

現地バスツアーによる
 製材工場視察（宍粟市）

「ひょうごの木」WEBサイト
 URL：<https://hyogo-no-ki.jp/>
 「ひょうごの木」インスタグラム
 URL：https://www.instagram.com/hyogo_no_ki/



WEBサイト

インスタグラム